【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2014-508856(P2014-508856A)
【公表日】平成26年4月10日(2014.4.10)
【年通号数】公開・登録公報2014-018
【出願番号】特願2013-549422(P2013-549422)
【国際特許分類】
Ｂ２２Ｆ　9/24　(2006.01)
Ｂ８２Ｙ　40/00　(2011.01)
Ｂ８２Ｙ　30/00　(2011.01)
【ＦＩ】
Ｂ２２Ｆ　9/24　Ｅ
Ｂ２２Ｆ　9/24　Ｂ
Ｂ８２Ｙ　40/00
Ｂ８２Ｙ　30/00
Ｂ２２Ｆ　9/24　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成26年6月26日(2014.6.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つのハロゲン化物イオンを形成することができる少なくとも１つの化合物であって、少なくとも１つの第１の原子と、前記少なくとも１つの第１の原子に結合した少なくとも１つのハロゲン原子と、前記少なくとも１つの第１の原子に結合した少なくとも１つの炭素原子を含む少なくとも１つの芳香環とを含む、化合物を提供することと、
前記少なくとも１つの化合物または前記少なくとも１つのハロゲン化物イオンのうちの少なくとも１つの存在下で、少なくとも１つの第１の金属イオンを少なくとも１つの第１の金属に還元することと、を含み、
前記少なくとも１つの第１の原子と前記少なくとも１つのハロゲン原子との電気陰性度の差の絶対値が０．４ポーリング単位超かつ２．０ポーリング単位未満である、方法。
【請求項２】
前記少なくとも１つの第１の原子は、ホウ素原子、窒素原子、リン原子、ケイ素原子、硫黄原子、セレン原子、または炭素原子のうちの少なくとも１つを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記少なくとも１つの第１の原子は、ホウ素原子、リン原子、ケイ素原子、または炭素原子のうちの少なくとも１つを含む、請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】
前記少なくとも１つのハロゲン化物イオンを、前記少なくとも１つの化合物の加溶媒分解によって形成することをさらに含む、請求項１～３のいずれか1項に記載の方法。
【請求項５】
前記少なくとも１つのハロゲン化物イオンは、少なくとも１つの塩化物イオンまたは臭化物イオンを含む、請求項１～４のいずれか1項に記載の方法。

【請求項６】
前記少なくとも１つの化合物は、少なくとも１つのカルボカチオンを形成することができる、請求項１～５のいずれか1項に記載の方法。
【請求項７】
前記少なくとも１つの化合物は、フェニルホスホン酸ジクロリド、ジクロロフェニルボラン、またはトリフェニルメチルクロリドのうちの少なくとも１つを含む、請求項１～６のいずれか1項に記載の方法。
【請求項８】
前記少なくとも１つの第１の金属は、少なくとも１つのＩＵＰＡＣ第１１族元素または少なくとも１つの貨幣金属を含む、請求項１～７のいずれか1項に記載の方法。
【請求項９】
前記少なくとも第１の金属は銀を含む、請求項１～８のいずれか1項に記載の方法。